

当時の思い出

佐々木 大樹 (平成17年度卒業生)

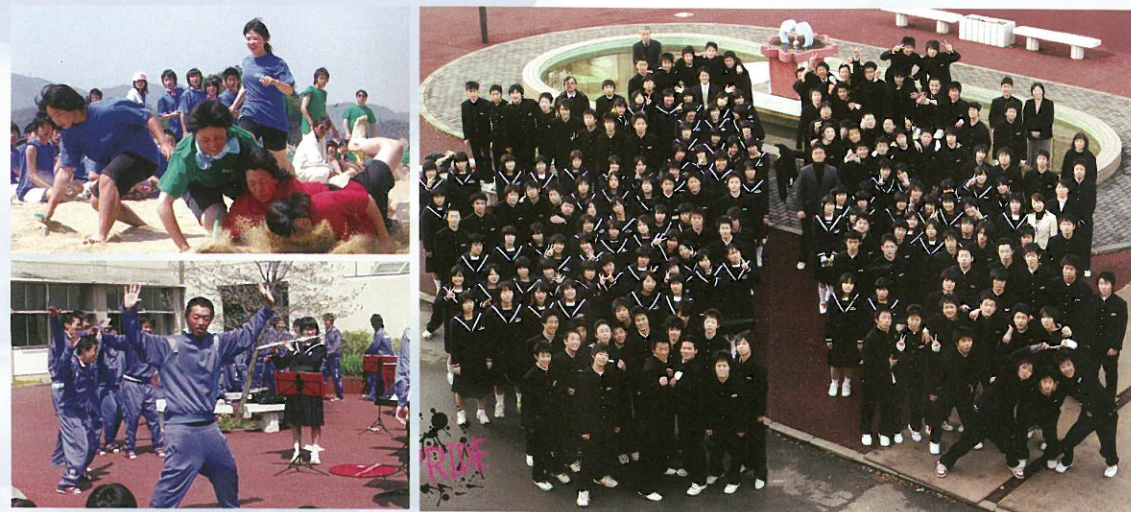
- 春 ・ 新入生歓迎として、昼休みには中庭で吹奏楽部による演奏があり、全校生徒が教室の窓や中庭で聴いていたこと。
- ・ 平成17年度の1年生の学年から、それまで生徒がジャージを腰パンで履く風潮にあったのを徹底的に改められたこと。
- 夏 ・ 3年生の修学旅行時には5年目となる岡山県の白石島へ行き、現地の中学生と砂浜で海の生物を使った運動会や合唱をして、交流を図ったこと。
- ・ 中体連で女子バスケットボール部と男子バドミントン部が全国大会に出場したこと。
- 秋 ・ 体育祭では恒例のクラス毎に行う大縄跳びの練習・本番も含め、クラスの仲間の絆が深まったこと。
- ・ 棒倒しが危険であることを理由に平成17年度の体育祭から種目ではなくなったこと。
- ・ 文化祭はなく、その代わりに『創造』という時間で学んだ成果を全校生徒の前で各グループの代表が発表会するものがあったこと。
- 冬 ・ 1年生の宿泊研修では各務原少年自然の家にて2日目の朝、前日の夜から極度の冷え込みで現地では前代未聞の外の水道が氷ってしまい、昼まで使用出来なかったこと。
- ・ 2年生のスキー研修では長野県車山高原スキー場に向かう当日、各務原でも大雪が降り、大渋滞を越え現地へバスで向かったこと。
- ・ 合唱発表会では任意で来校してくれた親の前で日々の練習の成果を大いに発揮することができたこと。
- ・ 何かの記念イベントで各務原市内の中学3年生だけが各務原市民会館大ホールに集合し、合唱の交流を図ったこと。

恩師のたより

拡散せよ、那加中文化

奥村 圭吾 (平成17年度3年学年主任)

創立70周年おめでとうございます。卒業アルバムを見返すと、十数年前のことが鮮やかによみがえります。  
白石島への修学旅行では、全国で唯一、那加中学校だけが地元の中学校との交流が許され、合同で海の運動会を行いました。  
また、学級対抗競技に全力で取り組んだ体育祭、聴く人全てに大きな感動をもたらした合唱発表会。『行事の成功は落ち着いた日常生活の上にか成り立たない』が合い言葉でした。  
記念合唱曲集のCDも、記憶をたどる大きな助けとなります。3年生の「地球3部作」等も素晴らしいものですが、私は1年生で録音した、まだ幼さの残る「フレトイ」が大好きです。また、隠しトラックの「そして愛」を聴くと、オーケストラ伴奏に練習なしで見事に合わせた皆さんを思い出します。  
職員と生徒で作上げる、いわゆる「中学校文化」は、もっと世界に向けて発信されてもよいものではないかと私は思います。



那加中学校での思い出

中島 護雄 (平成18年度卒業生)

那加中学校を卒業して10年が経ちました。  
私にとって、当時の思い出といえば野球部での日々です。今思えば、あの時の野球部での活動は自分の人生の中で最もスポーツに打ち込んでいた時だと思います。当時は、朝練が毎日あり朝起きるのが苦手だった私は、親にたたき起こされ、自宅から那加中までの道を疾走していました。土日も練習試合が毎週のようにありほとんど野球漬けの日々だった記憶があります。那加中での野球部では、楽しいこともつらいことも色々なことを経験させていただきました。チームメイトみんなで公式戦初勝利の喜びを分かち合ったり、時には監督やコーチの逆鱗に触れ練習させてもらえないこともありました。そんな中でもみんなで支えあって過ごした日々はとても充実していたと思います。当時自分を支えてくれた、家族、友人、監督、コーチには感謝の思いでいっぱいです。

恩師のたより

パワフルな生徒達

堀田 利和 (平成18年度3年学年主任)

活気にあふれ、何事にも全力で取り組む生徒たちであったと思います。  
1年生の総合的な学習の時間では特別な学習をしました。例えば「宇宙」コースでは、JAXAから講師を招き、「火星に移住できるか」などの学習をしました。  
2年生での宿泊研修では、この年から「スキー」か「ボード」を選択して体験することができるようにしました。最高の雪質で、冬のスポーツを大いに楽しみました。  
3年生の白石島修学旅行では、漁船に乗ったり、魚釣りをしたり、瀬戸内海での生活にどっぷりつかりました。地元の白石中学校は、修学旅行で白石島に来る中学校の中で唯一那加中学校だけと交流してくれました。  
現在の皆さんがどんな生活をしているか、とても興味があります。皆さん、お幸せに。

